

プロテイン・アイランド松山 2016 開催報告

日程 平成28年 6月 7日（水）～ 6月 9日（金） 「蛋白質科学会出展」
平成28年 9月16日（金） 「第14回 松山国際学術シンポジウム」
平成28年10月12日（水）～10月14日（金） 「BioJapan2016出展」
平成28年10月22日（土） 「一般向け体験セミナー」
平成28年11月16日（水）～11月18日（金） 「膜タンパク質合成講習会」
平成28年11月17日（木） 「公開講演会」

第16回日本蛋白質科学会年会附設展示会への出展

日程：平成28年 6月 7日（水）～ 6月 9日（金）

会場：福岡国際会議場

ブース：小間番号 22

11月開催の膜タンパク質合成講習会についての広報と共に、「プロテイン・アイランド・松山」の取組についても周知し、他イベントへの集客も視野に入れて展示を行った。

内容的につながりがある愛媛大学発ベンチャー企業（株）セルフリーサイエンスと、隣り合ったブースを希望し、出展の効果を高めた。

第14回 松山国際学術シンポジウム

タンパク質で病気を理解することをメインテーマに、国内外の新進気鋭の研究者の方々に講演をいただきました。シンポジウムをきっかけにネットワークが形成され、今後の研究活動がますます活発になると期待されています。

また、講演だけではなく、若手研究者を中心としたポスター発表や協賛企業によるブース展示も行われ、充実したシンポジウムとなりました。昨年同様前日に、「PIM若手の会」を開催し、日本語・英語のショートトーク・交流会を通じ若手研究者間の親睦を深めました。

若手の会

日程：平成28年 9月15日（木） 15:00～18:30

会場：愛媛大学城北キャンパス 南加記念ホールおよび共通講義棟B（1階）

プログラム：

Session 1 Oral Presentation (in English) (南加記念ホール)
Session 2 Short Oral Presentation (南加記念ホール)
Session 3 Poster Presentation (共通講義棟B)

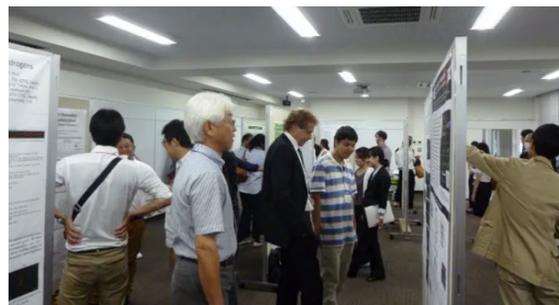


国際シンポジウム

日程：平成28年 9月16日（金） 9:00～18:30

会場：愛媛大学城北キャンパス 南加記念ホールおよび共通講義棟B（1階）

9:35 - 9:55	Opening Remarks 坪井 敬文（愛媛大学）
9:55 - 10:25	石野 智子（愛媛大学プロテオサイエンスセンター） 座長：高島英造（愛媛大学） Rhoptry proteins have important roles during sporozoite invasion of mosquito salivary glands or mammalian hepatocytes
10:25 - 11:05	Justin Boddey（ウォルターエリザホール医学研究所，豪州） 座長：石野智子（愛媛大学） Plasmeprin V is essential for the development of malaria parasites in the liver
11:05 - 11:25	休憩
11:25 - 11:55	Cevayir Coban（大阪大学免疫学フロンティア研究センター） 座長：増本純也（愛媛大学） Tissue-specific immunopathology during malaria
11:55 - 12:35	Nesrin Ozoren（ボアズィチ大学，トルコ） 座長：ジェヴァイア チョバン（大阪大学） ASC Specks as Novel Antigen Carriers
12:35 - 13:30	昼食
13:30 - 14:50	ポスターセッション及び協賛企業プレゼン （株）セルフリーサイエンス・大塚製薬（株）・（株）パーキンエルマー・ジャパン
14:50 - 15:20	西 英一郎（京都大学大学院医学研究科） 座長：東山繁樹（愛媛大学） Nardilysin regulates intestinal tumor development through its multifaceted functions
15:20 - 16:00	Klaus Elenius（トゥルク大学医学の生化学部，フィンランド） 座長：西英一郎（京都大学） ERBB4 mutations. Passengers or Drivers?
16:00 - 16:20	休憩
16:20 - 16:50	李 智媛（愛媛大学プロテオサイエンスセンター） 座長：飯村忠浩（愛媛大学） Unveiling novel regulatory mechanisms of osteoclasts by integrative approaches of bio-imaging and molecular omics
16:50 - 17:30	安尾 仁良（フランス国立科学研究所，フランス） 座長：飯村忠浩（愛媛大学） Chordate embryogenesis in binary mode
17:30 - 18:10	遠藤 弥重太（愛媛大学・カリフォルニア大学，米国） 座長：坪井敬文（愛媛大学） De novo reconstitution of nucleosomes using the wheat germ cell-free system
18:10 - 18:15	Closing Remarks 坪井 敬文（愛媛大学）
18:30 - 20:00	懇親会（haco愛大城北店）



BioJapan2016出展

愛媛大学で開発された「コムギ無細胞タンパク質合成技術」を基盤とする研究成果を国内外の医療・健康分野等の企業に広く紹介し、愛媛大学とのマッチングを促進させるため、バイオビジネスにおけるアジア最大級のパートナーリングイベントである「BioJapan 2016」に出展しました。

展示ブースには、製薬企業をはじめとした150名あまりの方々にご来場いただき、愛媛大学発の技術にふれていただくことができました。今年も、マッチングシステムを活用し、8社と個別面談を行い、技術紹介や協業の可能性について話し合う機会を得ました。この成果は、「パートナーリング成果事例」としてBioJapanのホームページに掲載されました。

日程：平成28年 10月12日（水）～14日（金）

会場：パシフィコ横浜（神奈川県横浜市）

ブース：小間番号：B-59

出展者プレゼンテーション：

「愛媛の無細胞技術がタンパク質・創薬研究を加速する」

10月13日(木) 11:05～11:35

愛媛大学プロテオサイエンスセンター竹田浩之准教授



ブース展示の様子

お問い合わせ | サイト内検索: Google カスタム検索 | ENGLISH

Pacifico Yokohama, Japan
October 11 (Wed.) - 13 (Fri.), 2017

HOME ▶ パートナリング結果事例

出展案内請求 | 申込書PDFダウンロード | 同時開催展

パートナーリング成果事例

愛媛大学（プロテイン・アイランド・松山）様

- 愛媛大、愛媛県、および愛媛大発ベンチャーである「株）セルフリーサイエンス」による産学官連携で、2013～2016年に連続で出展。
- マッチングシステムを用いて毎年10社程度と提携した結果、国外大手製薬企業や国内医薬メーカーと共同研究2件が成立し、研究資金を獲得。またセルフリーサイエンス社と国内医薬メーカー間との協業により開発したキットが2015年上市された。
- BioJapan 2016の出席セミナーで翌月に開催予定の技術セミナーについて告知したところ、国内メーカー所属の研究者に参加頂けた。

愛媛大学様の声

BioJapanが提供するマッチングシステムやパートナーリングイベントを活用することで、地方大学でも独自技術や研究成果を産業界にアピールできる。愛媛大では研究費自ら調達に参加することで、企業様への技術的アピールや、ニーズ調査が効果的に行えた。

プロテオサイエンスセンター長 坪井敬文様

商業化、成約した商品の一例
「無細胞産生タンパク質合成技術」

愛媛大学発の無細胞タンパク質合成技術を発案させ、GPCRなどの創薬標的タンパク質を大量合成する技術を開発した。この技術は腫瘍タンパク質に対する抗体作製に特に有効で、セルフリーサイエンス社から合成キットや受託サービスとして提供されている。BioJapanの開催でご紹介したことにより、製薬企業、医薬メーカー様との契約につながった。

BioJapanホームページ（パートナーリング成果事例）

(PIM2016ポスター)



PIM2016パンフレット（表紙はポスターを利用 A4版4ページ）

10月22日(土) 一般向け体験セミナー
とことん科学 ～「何よりも科学的」をテーマにした体験型セミナー～

9月16日(金) 第14回 松山国際学術シンポジウム

ビジネス展開への試み

第16回日本蛋白質科学会年会 6月7日～9日 | BioJapan2016出展 10月12日～14日

申込方法 <http://www.pim-sympo.jp/>

お問い合わせ: 099-934-1044

一般向け体験セミナー

とことん科学!! ～タンパク質って、すごくない!?!～

主に県内の中学生、高校生約120人が参加し、愛媛大学発の世界最先端の技術に触れました。林秀則教授、坪井敬文教授及び遠藤弥重太特別栄誉教授が講演を行い、また林教授の指導のもと「無細胞タンパク質合成技術」を用いて蛍光タンパク質を合成する実験や電気泳動によるDNAを分析する実験にチャレンジしました。

参加者からは、「最先端の実験が簡単にできたり、専門的な実験器具を使うことができ、良い経験になった。」「タンパク質の凄さが分かり、もっと知りたいという気持ちになりました。」などの感想が寄せられました

日程：平成28年 10月22日（土）

会場：松山市役所 本館11階 大会議室

（一般向け体験セミナー 専用チラシ）



13:00 - 13:10	開会	松山市長（予定）
13:10 - 13:50	講演1・実験1	講演1：タンパク質を組み立てる 実験1：試験管の中でタンパク質を作ろう！ 林 秀則 （愛媛大学 プロテオサイエンスセンター 教授）
13:50 - 14:00	休憩	
14:00 - 14:30	講演2	講演2：タンパク質はマラリアを無くす切り札 坪井 敬文 （愛媛大学 プロテオサイエンスセンター長、教授）
14:30 - 14:40	休憩	
14:40 - 15:30	実験2・解説	実験2：DNAを分析してみよう！ 解説：実験1の解説 林 秀則 （愛媛大学 プロテオサイエンスセンター 教授）
15:30 - 15:40	休憩	
15:40 - 16:10	講演3	講演3：私は何者でしょう？生き物って？ 一神秘的な生命の原理を探ってみよう— 遠藤 弥重太 （愛媛大学 先端研究・学術推進機構 特別栄誉教授）
16:10 - 16:30	質疑応答	
16:30	閉会	



膜タンパク質合成講習会

企業研究者を対象とした本講習会は、プロテイン・アイランド・松山の産業界向け取り組みとして実施されました。2015年同様に、膜タンパク質合成講習会を本年も開催し、大変ご好評いただきました。県内外の17団体から合計21名もの企業研究者を中心としたご参加がありました。実習や講義、施設見学などを通して、愛媛大学で開発された本技術をしっかりと体験いただきました。また愛媛県内の企業の視察も実施し、異業種交流の機会を設けました。今後、参加団体において無細胞技術が薬剤開発へ活用されることが期待されます。

日程：平成28年 11月16日（水）～ 18日（金）

会場：愛媛大学プロテオサイエンスセンター（愛媛県松山市文京町3番）

16日（水）	13：00～13：10	開会・講習会概要説明
	13：10～13：40	講習：無細胞タンパク質合成法
	13：50～14：50	実習：リポソーム調製
	15：00～15：30	講習：無細胞膜タンパク質合成技術とその応用
	15：40～17：30	実習：タンパク質合成（翻訳反応）
	17：30～19：30	懇親会
17日（木）	8：30～11：00	実習：膜タンパク質精製
	11：00～15：00	昼食 & 県内企業視察
	15：00～15：30	実習：合成確認・合成効率試算
	15：30～17：15	公開講演会（オープンイノベーションと創薬）
	17：30～19：30	愛媛大学ミュージアム プロテオサイエンスセンター特別展 見学&交流会
18日（金）	9：00～12：00	実習：無細胞合成膜タンパク質の可溶化 抗体-膜タンパク質間相互作用解析
		プロテオサイエンスセンター施設見学
	12：00～12：30	まとめ・閉会

公開講演会

愛媛大学プロテオサイエンスセンターで進められている創薬研究の出口として、製薬企業との相互連携が欠かせません。今回の公開講演会では、「新しい産学官連携のカタチ オープンイノベーション」と題して、現役の企業担当者をお招きし、製薬業界における産学官連携の現状を、事例を交えながらご紹介いただきました。また、質疑応答の時間を長く取り、参加者全員でその問題点や解決方法について、取り深く考える場となりました。膜タンパク質合成講習会の参加者を含め、愛媛県、松山市などの行政機関、愛媛大学、松山大学などのアカデミア、また愛媛県内企業などの産業界も含め、多くの方に参加いただきました。

日程：平成28年 11月17日（木） 15：30～17：15

会場：愛媛大学 南加記念ホール（愛媛県松山市文京町3番）

講師：第一三共（株）研究統括部 主査・薬学博士 藤田 義文

演題：「第一三共株式会社のオープンイノベーション活動のご紹介、
および今後の産学官連携に向けて」